



令和5年9月6日

各位

会社名 株式会社きんえい
代表者名 取締役社長 作田 憲彦
(コード番号 9636 東証スタンダード市場)
問合せ先 常務執行役員経理部長 藤下 修
(TEL. 06-6632-4553)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、令和5年3月14日に公表した令和6年1月期第2四半期累計期間(令和5年2月1日～令和5年7月31日)及び通期(令和5年2月1日～令和6年1月31日)の個別業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 令和6年1月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(令和5年2月1日～令和5年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,700	百万円 90	百万円 90	百万円 50	円 銭 17.93
今回修正予想(B)	1,833	172	172	117	42.29
増減額(B-A)	133	82	82	67	
増減率(%)	7.8	91.1	91.1	134.0	
(ご参考) 前期実績 (令和5年1月期第2四半期)	1,624	101	104	84	30.47

2. 令和6年1月期通期個別業績予想数値の修正(令和5年2月1日～令和6年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,480	百万円 180	百万円 180	百万円 100	円 銭 35.86
今回修正予想(B)	3,510	210	210	125	44.83
増減額(B-A)	30	30	30	25	
増減率(%)	0.9	16.7	16.7	25.0	
(ご参考) 前期実績 (令和5年1月期)	3,344	174	183	124	44.69

3. 修正の理由

当第2四半期累計期間において、シネマ・アミューズメント事業でヒット作に恵まれたことに加え直営ゲームセンターの増床効果もあり、売上高は当初の予想を上回りました。また、諸経費全般にわたり抑制に努めたことにより営業利益、経常利益及び四半期純利益はそれぞれ当初の予想を上回りました。

第3四半期以降は、シネマ・アミューズメント事業では現時点で公開が予定される映画作品に基づく収入予想の合計が当初に比べて減少すると見込まれること、また不動産事業において空き区画への後継テナント誘致に時間を要すると見込まれることから、売上高及び各段階利益の見通しを当初よりも引き下げましたが、通期の業績は当初予想を上回る見通しであります。

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果になる可能性があります。

また、第2四半期累計期間の決算短信は、令和5年9月8日（金）発表予定であります。

以 上